

個別報道資料作成項目

Ⅱ 誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します

世界文化遺産登録推進事業	世界文化遺産推進室	80
百舌鳥古墳群ガイダンス施設等整備事業	世界文化遺産推進室	81
百舌鳥古墳群保存活用事業	文化部	82
百舌鳥古墳群周辺整備	世界文化遺産推進室、交通部	84
博物館魅力向上事業	博物館	85
(仮称)さかい文化芸術発信事業	文化部	87
堺市文化振興財団事業補助	文化部	89
堺市民芸術文化ホール整備事業	文化部	90
国内都市交流事業	文化部	91
原池公園事業(野球場・運動公園)	スポーツ部、公園緑地部	93
大浜体育館建替整備運営事業	スポーツ部	96
J-GREEN堺活用事業	スポーツ部	98
原山公園再整備運営等事業	公園緑地部、南区役所	100

平成29年2月20日提供

	問い合わせ先
担当課	文化観光局 世界文化遺産推進室
直通	072-228-7014
内線	4680、4684
FAX	072-228-7251

「世界文化遺産登録推進事業」について

堺市では、大阪府、羽曳野市、藤井寺市とともに百舌鳥・古市古墳群の平成29年の国内推薦獲得をめざしています。

大阪府、羽曳野市、藤井寺市と共同で設置した百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議において、登録推薦書の作成や情報発信を行います。

また、堺市独自事業として、百舌鳥古墳群についての保全意識の醸成に向けた取組などを進めます。

記

1. 事業名

世界文化遺産登録推進事業

2. 事業概要

(推進本部会議事業)

- ・登録に向けた課題の検討や登録推薦書の作成
- ・首都圏PRを含めた情報発信事業の実施

(堺市独自事業)

- ・保全意識の醸成に向けた市民考古学講座の開催
- ・世界遺産や百舌鳥古墳群を夏休みの自由研究テーマとしてもらう企画の実施

3. 平成29年度当初予算額

36,683千円

新規

(732千円)

平成29年2月20日提供

	問い合わせ先
担当課	文化観光局 世界文化遺産推進室
直通	072-228-7014
内線	4680、4681
FAX	072-228-7251

「百舌鳥古墳群ガイダンス施設等整備事業」について

堺市では、大阪府、羽曳野市、藤井寺市とともに百舌鳥・古市古墳群の平成29年の国内推薦獲得をめざしています。

百舌鳥古墳群の雄大さを市民や来訪者に体感していただくとともに、展示等を通じてその歴史的意義や価値について知っていただくため、ガイダンス施設の整備や百舌鳥古墳群を快適に周遊するためのサインの設置を進めます。

記

1. 事業名

百舌鳥古墳群ガイダンス施設等整備事業

2. 事業概要

- ・(仮称)百舌鳥古墳群ガイダンス施設の建設工事の実施設計・展示設計の実施
- ・施設予定地の埋蔵文化財の発掘調査
- ・百舌鳥古墳群の周遊を支援する案内・誘導・解説サインの整備

3. 平成29年度当初予算額

517,266千円

(うち、公共用地先行取得事業特別会計

268,000千円)

平成29年2月20日提供

	問い合わせ先		
担当課	文化観光局	文化部	文化財課
内線	4650		
直通	072-228-7198		
FAX	072-228-7228		

「百舌鳥古墳群保存活用事業」について

堺市では、百舌鳥古墳群の恒久的保存と活用に向けて、17基の国指定史跡を適切に維持管理するとともに、史跡の追加指定ならびに公有化に取り組み、「百舌鳥古墳群・未来への継承」を進めます。

記

1. 事業名

百舌鳥古墳群保存活用事業

2. 事業概要

- ・古墳の史跡指定および公有化に向けた取組を継続
- ・史跡百舌鳥古墳群の追加指定をめざした発掘調査を実施
- ・史跡百舌鳥古墳群の整備基本計画を策定
- ・いたすけ古墳などの環境整備事業を実施
- ・百舌鳥古墳群の歴史的価値を発信するため講演会等の開催

3. 平成29年度当初予算額 157,024千円

百舌鳥古墳群保存活用事業

平成29年度当初予算額 157,024千円

目的	史跡百舌鳥古墳群を適切に保存管理し、史跡の価値を後世に伝えるとともに、世界文化遺産登録へ向け機運を醸成する
根拠	『国指定史跡百舌鳥古墳群保存管理計画書』(平成26年度制定)
古墳構成	現存44基、うち陵墓23基(うち資産候補17基)、史跡17基(うち資産候補11基)、未指定5基

次世代への継承

国指定史跡百舌鳥古墳群を適切に保全し、次世代へ確実に継承する

- 指定地の公有化を図る
- 指定地の保護と適正な管理に継続して取り組む

世界文化遺産登録への機運醸成

百舌鳥古墳群の存在と歴史的価値を広くアピールし、世界文化遺産登録への機運を醸成する

- 8回目となる百舌鳥古墳群講演会を開催する
- 第7回百舌鳥古墳群講演会録を作成する

百舌鳥古墳群の
恒久的保存と活用

保護と活用

古墳の保護すべき範囲を把握するとともに、その歴史的価値を明らかにする

- 範囲確認調査により国史跡の追加指定をめざす
- 追加指定へ向け関係機関や地元等との調整を図る
- 既調査結果をまとめた発掘調査報告書を作成する

国指定史跡の保存活用に取り組む

- 史跡整備へ向け、百舌鳥古墳群保存整備委員会にて基本計画を策定する
- 古墳の植生を適正に管理するため、いたすけ古墳等の環境整備に取り組む



いたすけ古墳図 (堺市世界文化遺産推進室提供)

平成29年2月20日提供

問い合わせ先	
百舌鳥古墳群周辺整備（J R 阪和線百舌鳥駅整備検討を除く）について	J R 阪和線百舌鳥駅整備検討について
担当課 文化観光局 世界文化遺産推進室 直 通 072-228-7014 内 線 4680、4682 F A X 072-228-7251	担当課 建築都市局 交通部 公共交通課 直 通 072-228-7549 内 線 5520、5405 F A X 072-228-8468

「百舌鳥古墳群周辺整備」について

堺市では、大阪府、羽曳野市、藤井寺市とともに百舌鳥・古市古墳群の平成29年の国内推薦獲得をめざしています。

国内推薦獲得後に増加が予想される来訪者のおもてなしのため、履中天皇陵古墳視点場周辺の歩道整備等を実施します。

また、「百舌鳥古墳群の玄関口」となるJ R 阪和線百舌鳥駅について、整備の検討を行います。

記

1. 施策名

百舌鳥古墳群周辺整備

2. 事業概要

- ・ 仁徳天皇陵古墳周辺の舗装補修やトイレの整備工事、履中天皇陵古墳視点場周辺の歩道整備
- ・ 国内推薦選定後、増加が予想される来訪者に対応するための警備委託や総合電話問合せ窓口の設置、世界文化遺産登録を見据えた来訪者基礎調査などの実施
- ・ J R 阪和線百舌鳥駅の整備検討、調査など

3. 平成29年度当初予算額	147,435千円
新規	(6,438千円)
債務負担行為	(17,000千円)

平成29年2月20日提供

	問い合わせ先
担当課	文化観光局 博物館 学芸課
直 通	072-245-6201
F A X	072-245-6263

「博物館魅力向上事業」について

堺市博物館では、古代常設展示のリニューアル、百舌鳥古墳群シアター設置等、計画的に施設の改善・改修を進めています。平成29年度は、「かけがえのない資料を未来につなぐ」ため展示場の環境改善を図りながら堺の魅力発信や観光集客のため、堺市博物館の魅力向上に資する事業を実施します。

記

1. 事業名

博物館魅力向上事業

2. 事業概要

- ・新規展示ケースとLED照明により重要資料を安全に展示し、魅力ある展覧会を開催。
- ・博物館や百舌鳥古墳群のPRのための新しいミュージアムグッズを作製

3. 平成29年度当初予算額

36,023千円

博物館魅力向上事業

博物館活性化に向けた中期目標

☆シビックプライドの源となる豊かな歴史文化の発信拠点

☆にぎわいと学びの交流拠点

☆世界文化遺産ガイダンス拠点

平成29年度当初予算額 36,023千円



○常設展示の環境改善

・展示ケース更新

重要な資料を保護し適切な環境で展示するため、温湿度を一定に保ちやすく害虫の侵入を防ぐ密閉型のケースを新しく設置する。

・企画展コーナー展示ケースLED化

重要な資料を保護し適切な環境で展示するとともに、効果的な照明で作品を鑑賞しやすくするため、企画展コーナーの展示ケースの一部をLED化する。

○ミュージアムグッズ新規企画販売

ニーズに沿った新しい企画で古墳グッズ等を作成し、百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録の機運を醸成する。

平成29年2月20日提供

問い合わせ先	
担当課	文化観光局 文化部 文化課
直 通	072-228-7143
内 線	4630、4637
FAX	072-228-8174

「(仮称) さかい文化芸術発信事業」について

堺市では、2020年オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機に、堺固有の文化芸術を活用した事業を実施し、堺独自の都市魅力を国内外に発信するとともに、有益な遺産（レガシー）の創出と大会開催の機運を醸成します。

記

1. 事業名

(仮称) さかい文化芸術発信事業

2. 事業概要、事業目的など

堺固有の文化芸術資源を活用した展示会などの事業を実施します。

3. 平成29年度当初予算額 2,318千円
新規 (2,318千円)

(仮称) さかい文化芸術発信事業 事業概要

【目的】

本市が歴史文化を活用したまちづくりを進めていることを踏まえ、地域に根ざした堺固有の文化芸術資源を活用し、都市魅力を国内外に発信することにより、文化芸術と観光の振興等に努める。なお、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の文化プログラム（東京2020応援文化オリンピアド）を見据えた事業展開を行う。

【平成29年度 事業計画】

本市は明治期に興った竹工芸の大家を擁しており、竹工芸は日本の伝統的な芸術として海外でも注目されていることから、平成29年度は竹工芸作品の特別展覧会を開催する。

○名称

特別展「堺のバンブーアート ―伝統の技、革新の表現―」（仮称）

○展示概要

堺市は、前田家と田辺家という2つの竹工芸の大家を擁している。前田家は、竹工芸の分野を現代美術工芸として確立し、国際的な地位に押し上げた。また、田辺家は、透かし編みなどの表現技術を駆使し、格調の高さと品位を示す作品を編み上げている。現在は四代田辺竹雲斎（田辺小竹）が、伝統的な花籃のみならず、インスタレーション作品の制作などを精力的に行い、国際的な竹工芸作家として活躍している。

本展では、初代前田竹房斎や人間国宝に認定された二代前田竹房斎、初代から四代に至る田辺竹雲斎など、それぞれの作家が伝統に根ざしながら新しい表現の可能性を追求した竹工芸作品などを展示する。

*平成29年3月に田辺小竹が四代田辺竹雲斎を襲名予定

○会期

平成29年12月下旬～平成30年2月上旬（予定）

○開催場所

さかい利晶の杜 2階企画展示室

○開館時間

午前9時から午後6時まで（入館は午後5時30分まで）

○主催

堺市

平成29年2月20日提供

	問い合わせ先	
担当課	文化観光局	文化部 文化課
直通	072-228-7143	
内線	4630、4634	
FAX	072-228-8174	

「堺市文化振興財団事業補助」について

市民の文化活動の振興を図り、地域文化の創造に努めるとともに、市民生活の向上と地域の発展に寄与するために設立された（公財）堺市文化振興財団が行う文化事業等に要する経費を、堺市が補助することにより、本市の個性豊かな都市文化・市民文化の創造に寄与することを目的とします。

記

1. 事業名

堺市文化振興財団事業補助

2. 事業概要

市の施策と連携し、質の高い芸術鑑賞機会の提供や、次代を担う芸術家の育成などにかかる事業を実施。平成29年度は新たに、堺市民芸術文化ホール開館までの期間を活用し、市内のホールにおいて機運醸成のための公演などを実施する。

3. 平成29年度当初予算額

185,789千円

拡充

(6,856千円)

平成29年2月20日提供

	問い合わせ先	
担当課	文化観光局	文化部 文化課
直通	072-228-7143	
内線	4630、4644	
FAX	072-228-8174	

「堺市民芸術文化ホール整備事業」について

堺市では、芸術文化による感動・喜びを通じた都市魅力の創造・発信を基本理念とする堺市民芸術文化ホールの整備を推進するとともに、開館準備業務を実施します。

記

1 事業名

- ・堺市民芸術文化ホール整備事業
- ・堺市民芸術文化ホール周辺整備事業
- ・堺市民芸術文化ホール管理運営

2 事業概要

- ・堺市民芸術文化ホール整備事業について
ホール建設工事を推進します。
- ・堺市民芸術文化ホール周辺整備事業について
ホールとの調和が図られ、来館者等が安全・快適に移動することができるとともに、まちの賑わいに寄与するような周辺整備をホール整備と併せて推進します。
- ・堺市民芸術文化ホール管理運営について
開館に向けたホールの貸出やオープニング事業等の準備を実施します。

3 平成29年度当初予算

- ・堺市民芸術文化ホール整備事業 4,695,024千円
- ・堺市民芸術文化ホール周辺整備事業 270,000千円
- ・堺市民芸術文化ホール管理運営 98,145千円

平成29年2月20日提供

問い合わせ先		
担当課	文化観光局	文化部 文化課
直通	072-228-7143	
内線	4630、4631	
FAX	072-228-8174	

「国内都市交流事業」について

堺市では、都市魅力の更なる創造・発信や地域経済の活性化を図ることを目的として、国内の都市との交流事業を実施します。

記

1. 施策・事業名、施設名など
国内都市交流事業

2. 事業概要
平成29年度は、新たに歴史文化都市シンポジウムを開催するなど国内の都市との交流を行います。

3. 平成29年度当初予算額
 拡充

2,917千円
(2,711千円)

歴史文化都市シンポジウムについて

1. 主旨

本市は、中世、町衆が納める自由自治都市として繁栄し、その中で千利休が生まれ、「茶の湯」の文化が花開き、以来、現在も利休の「茶の湯」の精神が息づく歴史・文化都市として繁栄している。

本市と同じく利休の精神が息づく、裏千家ゆかりの金沢市、武者小路千家ゆかりの高松市との間で、文化芸術・観光・伝統産業などの幅広い分野での連携・交流の取り組みを進め、都市魅力の更なる創造・発信と地域経済活性化を図るべく、金沢市及び高松市（以下、両市という）との交流事業を企画・実施する。

2. 「(仮称) 歴史文化都市シンポジウム～茶道と歴史文化のまちづくり～」

(1) 開催日：平成29年4月28日（金）

(2) 場 所：ホテル・アゴーラ リージェンシー堺「ロイヤルホール2」
(堺市堺区戎島町4-45-1)

(3) 内 容：

○基調講演

千玄室大宗匠（茶道裏千家第15代・前家元）をお迎えする。

○パネルディスカッション

山野之義金沢市長、大西秀人高松市長、京都府立大学宗田好史教授及び竹山修身堺市長をパネリスト、狭間副市長をコーディネーターとして実施。

問い合わせ先	
公園の整備に関すること	野球場の整備に関すること
担当課 建設局 公園緑地部 公園緑地整備課 直 通 072-228-7424 内 線 4431 FAX 072-228-1336	担当課 文化観光局 スポーツ部 スポーツ施設課 直 通 072-228-7567 内 線 4560 FAX 072-228-7454

「原池公園事業（野球場・運動公園）」について

堺市では、高校野球や社会人野球の公式戦等が開催できる野球場整備と、健康・レクリエーション機能を充実させた運動公園として「原池公園第3期整備に着手」します。

記

1. 事業名

原池公園事業（野球場・運動公園）

2. 事業概要

高校野球や社会人野球の公式戦等が開催できる観客席数やグラウンド仕様等を備えた野球場の整備を行います。また、健康・レクリエーション機能の充実を図るために、公園内にウォーキング・ジョギングなどの健康運動や、子どもの健全な育成、市民の休養・休息の場となる施設の整備を行います。

平成29年度は、基盤整備等を行います。

3. 平成29年度当初予算額 2,219,294千円

原池公園事業

(1)原池公園の概要

原池公園は、昭和40年に都市計画決定された、計画面積17.5haの運動公園です。現在、約7.41haの公園が開設し、主な施設は体育館(アリーナ、トレーニング室、多目的室)、スケートボードパーク、修景池、バーベキュー広場、遊具広場、駐車場などです。また、災害時には広域避難地の機能を有する都市公園に位置づけられているほか、体育館は指定避難所として指定されています。

所在地	大阪府堺市中区八田寺町・平井
都市計画(計画日)	都市公園(S40.7.29)
都市公園の種別	運動公園
都市計画決定面積	17.5ha
開設面積	約7.41ha
防災に関する位置づけ	広域避難地の機能を有する都市公園 体育館は指定避難所

(2)原池公園の位置

原池公園は、本市の中央部に位置し、交通アクセスは最寄駅である泉北高速鉄道深井駅から原池公園入口まで徒歩約20分(約1.6km)、JR阪和線津久野駅や泉北高速鉄道泉ヶ丘駅および深井駅よりバスの運行路線があります。また、車で利用の場合は阪和自動車道堺ICや堺泉北道など幹線道路から近く、市内外からのアクセス性に優れています。

(3)公園整備の経過

平成6年 事業着手
平成19年 第1期(体育館、駐車場)完成 3.7ha
平成23年 第2期(修景池、スケートボードパークなど)完成 7.41ha



(4)整備方針

①本格的な野球場の整備

高校野球夏季予選大会や社会人野球全国大会予選、プロ野球2軍戦等、市民が質の高い環境で野球に親しめ、レベルの高い試合を観戦できるプロ野球公認規格の野球場を整備します。

②健康、レクリエーション機能の充実(少子・高齢化対応)

市民のウォーキング、ジョギング等のニーズ、子どもの健全な発達、高齢者健康維持等が、快適に行える公園の整備に努めます。 ジョギング・ウォーキングイメージ



③安全、安心な公園づくり(防災機能の拡充)

大災害時に広域避難地として十分機能するように、避難に十分な空地確保と防災施設を整備します。

④景観に配慮した公園整備

周辺の景観に十分配慮した施設や植栽計画とします。

(5)主要施設

■野球場

収容人員5000人規模の野球場を整備します。

■園路

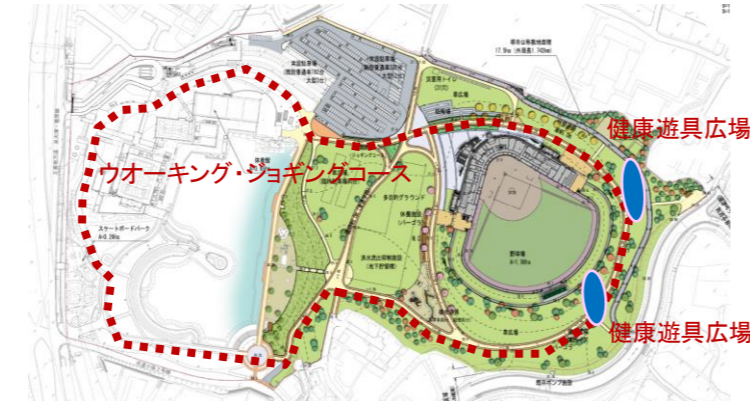
既開園エリアと合わせ、ウォーキング・ジョギングコースを整備します。園路沿いに健康遊具を配置した場所を、2箇所整備します。

また、緊急災害時に大型車両が通行できる主園路(幅員6.0m)を園内に整備します。



健康遊具

園路イメージ



■広場

多目的グラウンドでは、子ども向けの複合遊具と周辺には子どもたちを見守ることができる休憩施設を配置します。

また、防災トイレ31穴および非常用ヘリポートのスペースを確保します。



遊具



防災トイレ

(6)その他

■コスト削減への配慮

ライフサイクルコスト削減を図るため、入手容易な材料の使用や補修しやすい製品を採用します。また地形を生かした造成計画とし、イニシャルコストを削減します。

(7)スケジュール(予定)

平成28年度 実施設計
平成29年度 造成・建設工事着手
平成31年度 野球場部分完成
平成33年度 公園全体完成

■駐車場

公園利用者向けに、大型車12台、普通車342台を増設します。既存北側出入口部分を改修し、入退場ゲートを増設、安全性を向上させます。

(仮称)原池公園野球場基本設計概要

設計主旨

- ◆高校野球夏季予選大会や社会人野球全国大会予選、プロ野球2軍戦等、市民が質の高い環境で野球に親しみ、レベルの高い試合を観戦でき、子どもたちの「憧れ」や「目標」となる野球場とします。
- ◆公園との調和を図るため、建物全体のボリュームと高さを抑え、球場全体がそびえ立たない設計とします。
- ◆来園者や観客者が安全・安心して公園及び野球場を利用できる設計とします。

《野球場計画概要》

- ・内野黒土 外野天然芝 ・スコアボード LED 式
- ・両翼100m センター122m ・ナイター照明完備
- ・収容人数 5000人
(内野スタンド3000人、内外野芝生席各1000人)
- ・内野スタンド一部屋根付 ・屋内ブルペン
- ・選手の日照による守備への影響を考慮し、本塁を北東向きの配置計画とします。

野球場外構コンセプト

▽球場までに期待感、高揚感を創出させる狙いで、球場入口にシンボリックな大階段を配置します。
▽球場前には、観客の滞留スペースの機能確保とともに、交流の場として活用する目的でオープンスペースを設けます。



配慮事項

- ▽観客・選手・運営者が交錯しないよう動線を明確に分類します。
- ▽ユニバーサルデザインに配慮し、授乳室や多目的トイレ等を設置します。
- ▽停電時には発電機が作動して、ナイター設備を保安照明として稼働させます。
- ▽内外装には維持管理コストを低減させるために、耐久性・耐候性が優れた材料を選定します。
- ▽スタンド段床等にプレキャストコンクリート(工場で製造したコンクリート)を採用することで合理化と工期短縮を図ります。

野球場基本機能



《施設概要》

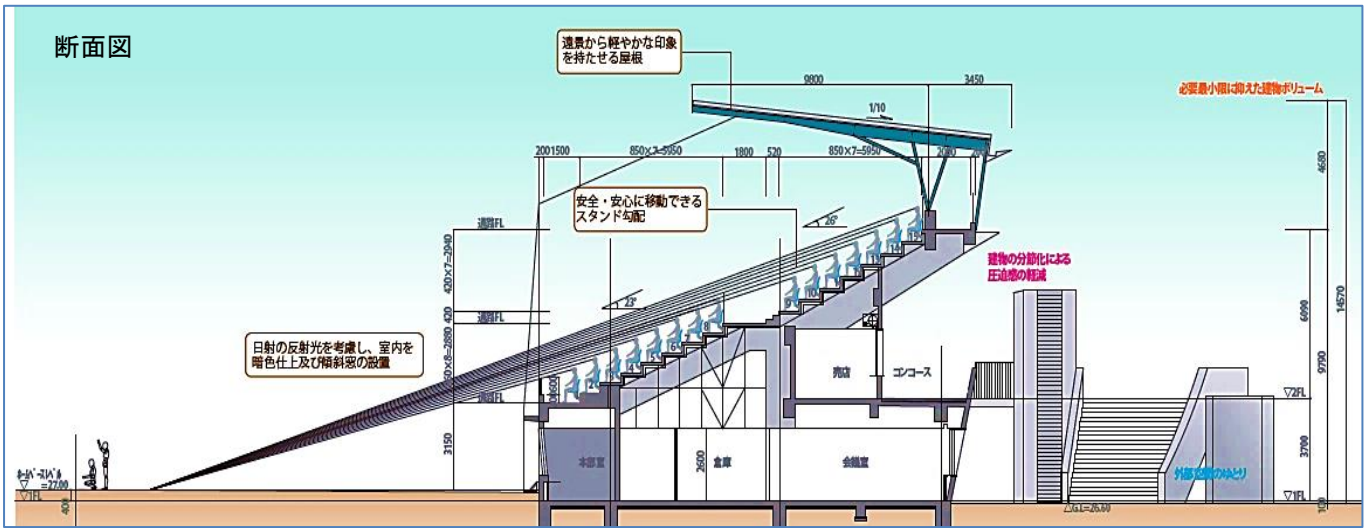
- 構造・階数 鉄筋コンクリート構造 地上3階建
- 建築面積 約3,500㎡ ○延べ面積 約6,400㎡
- 建物高さ 約14m ○軒高さ 約10m

●スタンド

猛暑や急な雷雨時に対応できるよう、バックネット裏に一部屋根を設けるとともに、コンコース(観覧席までの2階通路)には観客が一時退避できるスペースを設けます。
車椅子観客者が不自由なくコンコース階に上られるよう外部にエレベーターを設置し、コンコースレベルから車椅子席にスムーズに移動できる計画とします。また非常時の避難等を想定し、スロープを設置します。各種大会利用に対応できるよう必要諸室を設置します。

●ナイター設備、放送設備、防球ネット

ナイター設備は周囲の住宅地に光害の影響を与えない照度計画とし、放送設備は分散配置し、低出力で対応することで住宅地への影響を与えない計画とします。
防球ネットは場外飛球を考慮し、安全性を確保するために必要な高さとなります。



野球場平面図



平成29年2月20日提供

	問い合わせ先	
担当課	文化観光局	スポーツ部
	スポーツ施設課	
直通	072-228-7567	
内線	4560	
FAX	072-228-7454	

「大浜体育館建替整備運営事業」について

堺市では、昭和46年に建設した大浜体育館を建替えし、市民が安全で快適にスポーツに親しめる体育館と本市の武道振興の拠点となる武道館の整備を推進するために「PFI事業者の公募選定」を行います。

記

1. 事業名

大浜体育館建替整備運営事業

2. 事業概要

大浜体育館は、昭和46年に本市が初めて建設した体育館ですが、施設の老朽化などにより、利用ニーズに応えることが困難になりつつあります。

このため、市民が安全で快適にスポーツに親しめる体育館として建替えるとともに、大浜体育館の特長である武道場を充実させ、本市の武道振興の拠点となる武道館の併設整備を推進します。

平成29年度は、建替整備と運営を行うPFI事業者の公募選定を行います。

3. 平成29年度当初予算額 24,433千円

債務負担行為 (8,573,000千円)

大浜体育館建替整備運営事業 実施方針及び要求水準書（案）の主な内容

1. 事業概要

(1) 事業目的

第2次堺市スポーツ推進計画に定める「スポーツタウン・堺」を実現するため、市民が安全で快適にスポーツに親しめる体育館として建替えるとともに、市の武道振興の拠点となる武道館を併設整備することで、市民ニーズに応じたスポーツ環境を提供することを目的とする。

(2) 事業方針

- 市民の誰もが「する」スポーツに取り組める機会の提供
- 市民の誰もが「みる」スポーツに触れる機会の提供
- 周辺環境や地域資源との連携を考慮した大浜公園の魅力向上への寄与

(3) 対象施設・業務範囲

対象施設	業務範囲
新体育館（アリーナ、武道館 延床面積 約 13,000 m ² ）	設計・建設・管理運営
大浜公園野球場、大浜公園テニスコート、大浜公園相撲場、 三宝公園野球場、浅香山公園野球場、土居川公園テニスコート	管理運営

- 以下については本事業の業務対象外とする。
 - ▽ 現体育館の維持管理・運営及び解体（H32設計、H33.4~H34.6施工予定）
 - ▽ 新市民広場の設計・建設・工事監理・維持管理・運営（H33設計、H34.7~H35.3施工予定）

2. 事業スキーム

(1) 事業手法

- 新体育館：BTO方式（設計・建設後、市に所有権を移転し、指定管理者として管理運営する）
- 既存施設：O方式（既存施設の業務引継を受け、指定管理者として管理運営する）

(2) 事業期間

- 新体育館：契約締結日（H30.3）～H48.3.31まで 約18年間（設計建設3年、管理運営15年）
- 既存施設：H33.4.1～H48.3.31まで 15年間

(3) 新体育館の施設構成

ア 必須提案施設

- 新体育館は、アリーナ棟、武道館棟、コミュニティ空間の3つの機能で構成。
- 市が求める諸室等は、大アリーナ、小アリーナ、武道館、器具庫、大会役員控室、放送室、選手控室兼更衣室、トレーニング室、健康・体力相談室、体力測定室、エントランス、キッズコーナー、授乳室、研修室、更衣室、トイレ、管理諸室、管理用駐車場等とする。

イ 自主提案施設

- 必須提案施設に必要な諸室等を備えた上で、PFI事業者の独立採算事業として、計画地及びそれに隣接する敷地の一部に、公園の設置許可を受けて「自主提案施設」を設けることができる。
- 規模及び内容は、PFI事業者が自由に提案できるが、大浜公園とその周辺地域の魅力向上に資するものとする。
- 事業期間が終了したときは、PFI事業者は原則として自主提案施設を撤去し、原状回復する。ただし、市との協議により、市に無償譲渡することを認める場合がある。

(4) 運營業務に関する要求水準

- 運營業務を実施するに当たっては、大浜公園や大浜北町市有地に整備予定である商業機能、堺旧港の親水機能等の資源を十分に利活用し、公園管理者や地域住民等と連携しながら、大浜公園をはじめ南海堺駅、堺旧港の周辺地域全体の活性化に向けた取り組みを行うこと。

(5) 自主事業

- 必須提案施設及び計画地の一部、並びに既存施設の一部を活用し、施設の利用促進、利便性の向上等に資する事業を、市の承認を得た上で実施することができる。
- 大浜公園の敷地を活用し、公園全体の活性化や魅力向上等に資する事業を、市の承認を得た上で実施することができる。
- 実施に要する経費は、PFI事業者が負担し、事業により得た収入はPFI事業者に帰属する。
- 自主事業の利益の一部は、施設利用者のサービス向上に資するとともに、PFI事業者が提案する割合を、事業契約書に基づき、毎年度市に納付すること。

3. 事業者の選定手順・スケジュール

(1) 事業者選定の考え方

- PFI事業者の選定については、競争性及び透明性の確保に配慮したうえで、総合評価一般競争入札方式により行う。
- 市は、外部有識者で構成する「堺市 PFI 事業検討委員会」を設置し、応募グループが提出する事業提案の内容を、事業の企画及び技術的能力等を総合的に勘案して評価し、市は、検討委員会の評価結果をもとに、落札者を選定する。

(2) 事業者の選定スケジュール

日程	内容
平成 29 年 1 月 4 日	実施方針、要求水準書（案）（以下「実施方針等」という。）の公表
平成 29 年 1 月 4 日	実施方針等に関する質問及び意見等の受付、現地見学会等の申込の受付
平成 29 年 1 月 12 日	現地見学会
平成 29 年 1 月 18 日	個別対話の実施
平成 29 年 2 月	実施方針等に関する質問及び意見等への回答公表
平成 29 年 2 月	堺市立体育館条例の改正議案、入札公告にかかる予算議案の提案
平成 29 年 3 月	特定事業の選定・公表
平成 29 年 5 月	入札公告（「入札説明書等」の公表）
平成 29 年 5 月～6 月	入札説明書等に関する質問の受付・回答（第一次）
平成 29 年 6 月	入札参加資格確認申請書の受付、結果の通知
平成 29 年 7 月	入札説明書等に関する個別対話の申し込み受付・実施
平成 29 年 8 月～9 月	入札説明書等に関する質問の受付・回答（第二次）
平成 29 年 10 月～11 月	入札及び提案書の受付、落札者の決定及び公表
平成 29 年 12 月	落札者との基本協定の締結
平成 30 年 1 月	PFI 事業者との事業契約の仮契約の締結
平成 30 年 2 月	事業契約にかかる議案、指定管理者の指定にかかる議案、堺市立体育館条例等の改正議案の提案

平成29年2月20日提供

	問い合わせ先
担当課	文化観光局 スポーツ部 スポーツ推進課
直通	072-228-7437
内線	4550
FAX	072-228-7454

「J-GREEN堺活用事業」について

堺市では、J-GREEN堺（堺市立サッカー・ナショナルトレーニングセンター）を活用し、ラグビーワールドカップ2019や2020年東京オリンピック・パラリンピックのチームキャンプ誘致及び関西ワールドマスターズゲームズの競技開催に向けた取組を実施します。

記

1. 事業名

J-GREEN堺活用事業

2. 事業目的

ラグビーワールドカップ2019や2020年東京オリンピック・パラリンピックのチームキャンプ誘致や関西ワールドマスターズゲームズ2021の競技開催に取り組むことにより、国内外に向けて本市のPRを行い、インバウンドの推進や地域の活性化を図るとともに、本市におけるスポーツ機運の醸成や市民のスポーツに対する関心向上を図ります。

3. 平成29年度実施事業

- ・チームキャンプ誘致に向けた各国代表チームによる視察を受け入れ
- ・関西ワールドマスターズゲームズ2021の競技開催に向けた情報収集のため、直近大会であるワールドマスターズゲームズ2017オークランド大会を視察

4. 平成29年度当初予算額

13,708千円

拡充

(2,588千円)

J-GREEN堺活用事業概要

キャンプ誘致

1. 事業目的

ラグビーワールドカップ2019日本大会や2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会のチームキャンプ誘致を行うことにより、国内外に向けて本市のPRを行い、インバウンドの推進や地域の活性化などを図ります。

また、行政と市民が一体となってキャンプ誘致をめざすことで、市民が本市に対して持つ誇りや愛着を醸成するほか、市民が世界レベルの競技を身近に感じられる機会を提供することでスポーツに対する関心向上を図ります。

2. キャンプ誘致までのスケジュール

《ラグビーワールドカップ2019日本大会》

平成27年10月	ラグビーワールドカップ2015公式視察に参加
平成28年12月	公認チームキャンプ地選定プロセス登録申請
平成29年3月	組織委員会による実地視察
平成29年夏頃	公認チームキャンプ候補地決定
平成29年11月以降	チーム視察受け入れ・キャンプ地順次決定
平成31年	ラグビーワールドカップ2019開幕

《2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会》

平成28年8月～	事前トレーニングキャンプ候補地ガイド公開 チームによる現地視察・交渉開始
平成32年	2020年東京オリンピック・パラリンピック開幕

関西ワールドマスタースゲームズ開催

1. 関西ワールドマスタースゲームズ大会概要

ワールドマスタースゲームズは、4年に1度開催される生涯スポーツの祭典です。

《大会の特徴》

- ★おおよそ30歳以上なら誰でも参加できる
- ★32競技55種目を関西各地で開催
- ★150以上の国と地域から大会全体で5万人以上の参加をめざす

2. 事業目的

本大会を通じて、スポーツを身近に体験・観戦できる機会をつくり、市の生涯スポーツの活性化につなげます。

また、多くの来訪者に堺が誇る歴史文化をPRするとともに、国際交流の機会を創出し、スポーツを通じて明るく元気で活力あるまちづくりを進めます。

3. 事業スケジュール

平成28年度	競技開催地決定 ※J-GREEN堺がサッカー及びフットサル競技の会場に決定
平成29年度	地区別実行委員会設立 ワールドマスタースゲームズ2017オークランド大会視察
平成31年度	参加申し込み受付開始
平成33年度	関西ワールドマスタースゲームズ開催

平成29年2月20日提供

問い合わせ先	
【原山公園再整備運営等事業に関すること】 担当課 建設局 公園緑地部 公園緑地整備課 直 通 072-228-7424 内 線 4420 FAX 072-228-1336	【南区役所駐車場に関すること】 担当課 南区役所 企画総務課 直 通 072-290-1800 内 線 95-3002 FAX 072-290-1814

「原山公園再整備運営等事業」について

堺市では、原山公園の活性化と梅・美木多駅前周辺の賑わいの創出に寄与し、もって泉北ニュータウンの再生に資することを目的に、「子どもから高齢者まで誰もが健康づくりを愉しむきっかけをつくる公園」としてPFI手法により再整備運営事業を推進します。

また、整備による来園者対策として南区役所ほか梅・美木多駅周辺における駐車場の整備を行います。

記

1. 事業名

原山公園再整備運営等事業

2. 事業概要

原山公園を屋外プール等施設及び屋内施設から構成される公園へPFI手法により再整備運営を行います。

平成29年度は、PFI事業者を選定し、基本設計等に着手します。

また、駐車場の設計等に着手します。

3. 平成29年度当初予算額

126,260千円

債務負担行為

(4,646,000千円)

原山公園再整備運営事業

I. 公園のコンセプト

子どもから高齢者まで
誰もが健康づくりを愉しむきっかけをつくる公園

屋外プールや新たに設置する屋内施設に合わせて公園全体を再整備し、子どもから高齢者まで多世代の方に運動やレクリエーション活動などを愉しんでもらえる公園とする。とりわけ健康づくりを目的とした事業展開を図ることで、普段運動しない人や、運動したいがきっかけがない人に運動の「きっかけ」を作り、運動習慣を身に付けてもらい、自ら進んで運動しつづけることで健康づくりに役立ててもらおう。

II. 整備方針

方針1 多様な世代が自主的に健康づくりを行える空間の整備

⇒市民の健康に対する意識の向上、健康づくりや生きがいづくり、交流、社会参加等のきっかけづくり、運動習慣の定着に貢献するため、地域の高齢者や子ども、勤労世代など多様な世代が自ら健康づくりを実践できる空間（施設や場所）を整備する。
⇒健康づくりにあたっては、行政のみならず、大学や地域活動団体等との連携も図ったプログラム等を実施し、参加者同士の交流や指導者の育成等を推進する。

方針4 誰もが安全・安心に利用できる空間の整備

⇒地域の主たる歩行者動線である緑道は、バリアフリー化や街灯の照度確保、沿道への施設設置等を行い、安全・安心に利用できる歩行空間として整備する。
⇒災害時には、一次避難地の機能を有する公園として機能を発揮する防災施設を整備する。

方針2 子育て環境にふさわしい空間の整備

⇒子どもや子育てする親が安心して遊び、憩える安全な空間を整備する。
⇒死角をなくし、人の目や賑わいを感じることでできる設えとする。
⇒子どもが安全に遊ぶことのできる遊具や広場を整備する。

方針5 気軽に自然とふれあえる空間の整備

⇒既存の樹林地やため池を有効活用し、自然を身近に感じ、実際にふれあうとともに、自然豊かな景観を享受できる空間を整備する。
⇒地域住民やまちづくり団体、民間事業者の参画や連携によるプログラム等を積極的に展開し、気軽に自然とふれあえる機会を提供する。

方針3 多様な世代がレクリエーション利用できる空間の整備

⇒市民の遊び場や憩いの場として生活に潤いと安らぎ、癒しを提供するため、プールをはじめ多様な世代がレクリエーション利用できる施設・空間を整備する。

方針6 人と人がつながる空間の整備

⇒コミュニティ形成の機会を創出するため、多くの人が集い、交流できる空間を整備する。

III. 公園の施設計画

①：屋内施設 建築面積約 2,500㎡（延床面積約 3,800㎡）

・通年利用できる屋内プールや多目的室を設置

<利用イメージ>

- ・多様な健康増進プログラムによる運動習慣の定着
(例:水中運動、ストレッチ、個々の運動、健康相談)
- ・子育て支援プログラムの実施 (例:親子スイミング)
- ・健康に関する活動団体向けプログラムの実施
(例:発表会の開催、指導者養成に向けた人材育成研修会)
- ・多世代が生涯にわたる健康づくりに取り組むための食育の実施
(例:調理室の設置)

②：屋外プール 敷地面積約 10,500㎡

・近年のプール利用者数（約 12 万人）に適した施設となるよう規模を縮小
・泉ヶ丘プールで人気の高い流水プールと幼児用プールを踏襲し、新たな魅力として起伏を利用したスライダーを設置

<利用イメージ>

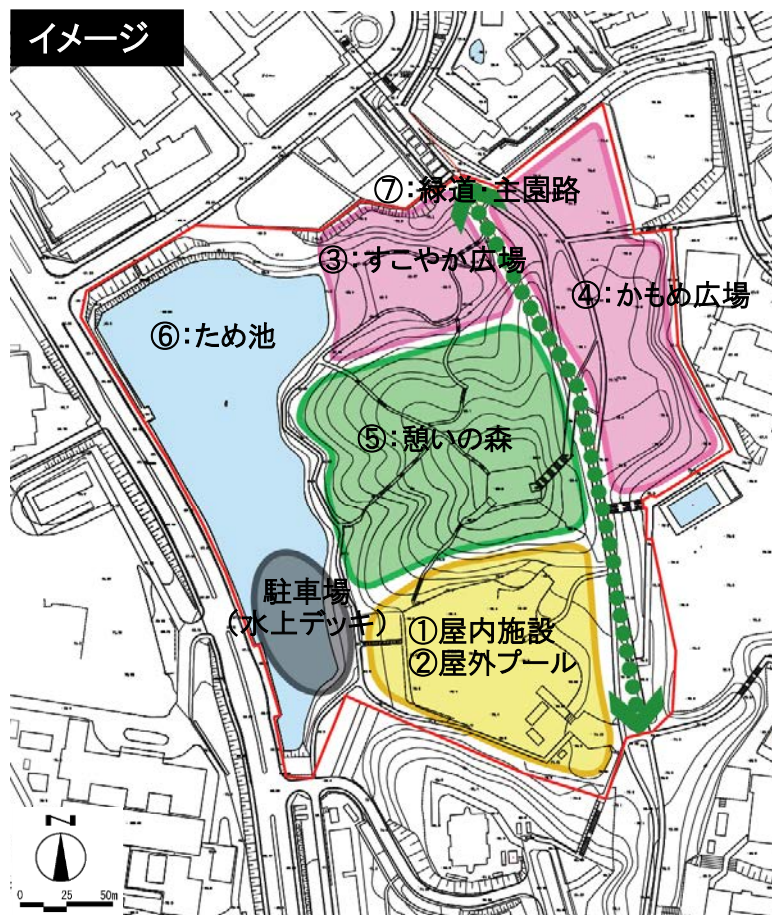
・屋外プール閉鎖期間の有効活用

③：すこやか広場 ・ ④：かもめ広場

・子ども向け遊具や健康遊具を設置
・災害時の一次避難地としての機能を確保

<利用イメージ>

・イベント等を実施し、多世代が集い、交流できる空間を創出



⑤：憩いの森

・整備・維持管理により森を再生し、自然を身近に感じながら憩える空間を創出する。

<利用イメージ>

・自然体験プログラム等を実施
(例:自然遊び、自然観察)

⑥：ため池

・水上デッキをかけて駐車場を設置

<利用イメージ>

・ため池の水面を利用したレクリエーション
・修景を楽しみながら憩い交流できる空間を創出
(例:カフェ、レストラン)

⑦：緑道・主園路

・子どもや女性が安心して通行できるよう視認性を確保し、バリアフリーの観点から高齢者や障がい者が安全に通行できる動線の見直し

<利用イメージ>

・地区の活性化や賑わいの創出に寄与するため、沿道施設や沿道を活用したイベント等の実施

IV. 管理運営・事業手法

■管理運営計画

・民間のノウハウを活用し、プールだけでなく**公園全体のパークマネジメント**を行うことで、多様化する市民ニーズに対応した運営を実施

■事業手法

・設計・建設・管理運営に民間の経営能力や技術能力等のノウハウを活用し、質の高い公共サービスを提供するため、事業期間 20 年間、BTO方式による**PFI手法を導入**する。

■スケジュール

平成 29 年度	事業者決定～設計・施工
平成 32 年夏	開設予定